

教員養成の教育の質向上に関わる取り組みの概要

○教職支援室、教職指導室の設置

1. 教職支援室（1 研）は、教職課程専任教員が常駐し、学生からの各種相談などに対応している。また教員の就職（在学生・卒業生を含む）に関する相談にも応じている。
2. 教職指導室（2 研）は、模擬授業対策、教職課程の履修指導、教員採用試験対策などの相談に対応している。
3. 1 研と 2 研とも専任教員の研究室の極近くに設置しているため常時相談等に応じる体制が出来ている。

○多様な学習機会の提供のための授業教材の作成

- ・2022 年度までは、各年度『省察集』、『検証・教育実習』をそれぞれ作成。2022 年度は、『TUC 高崎商科大学教職課程年報（『TUC 教職課程授業づくり省察集』合併号）2022』、2023 年度は、『高崎商科大学教職研究年報（前期号）』及び『高崎商科大学教職研究年報（後期号）』を刊行。その他は、各授業において適宜作成し配布している。

○各種オリエンテーション・対策講座の実施

- ・「教職指導（学生の受け入れ・学生支援）」として、各年度に『教職課程履修の手引き』を作成し、それに基づき教職課程専任教員及び担当事務職員などが各学年に応じたオリエンテーションを実施している。

2024 年度の前期・後期オリエンテーションの実施状況は、以下の通りである。

前期：2024 年 3 月 26 日（火）実施

新 2・3・4 年生対象	10：00～（222 教室）
新規 編入生・新 2 年生・新 3 年生履修者対象	11：30～（223 教室）

2024 年 4 月 3 日（水）

新 1 年生対象	15：00～（223 教室）
----------	----------------

後期：2024 年 8 月 30（金）実施

新規 新 2・3 年生履修者対象	15：00～（223 教室）
※個別対応：2024 年 9 月 3 日（火）	10：30～（223 教室）

- ・「履修指導」については、教職課程に関するオリエンテーションを実施するだけでなく、教員はオフィスアワー等を利用し、事務局においては窓口において対応している。また学内 Web ポータルサイトも活用し相談に応じている。その内容については教員養成カリキュラム検討委員会にて報告し情報共有する。「介護等体験直前指導」（2024 年 5 月 14 日（火）15 時～）、「保護者懇談会」（2024 年 6 月 8 日（土）10 時 30 分～）等においても対応している。

・本学学生生活・学習支援センターの資格講座「資格の杜」に位置づけるものとして、原則毎週土曜日、教職課程専任教員が「教員採用選考試験」に向けて講座等を実施している。在学生第1学年から第4学年が参加することは当然であるが、卒業生（非常勤講師等）も参加している。文部科学省は、異学年による集団学習を指導・助言しており、その対応へストレートな形で応えることとなっているが、それだけでなく卒後指導の役割も担っている。なお参加者の利便性を考慮し、本年度もオンライン形式で実施した。また、商業科教員に必要な資格取得講座も必要に応じて実施している。

具体的には、「教員採用選考試験対策講座 一次試験対象」を、①教職教養（担当：菅原・下山／4月～3月／土曜日）、②一般教養（担当：雨宮／9月～3月／水曜日）として開講。「2次試験対象」は、7月～8月に不定期に開講。卒後指導も含む。

・高崎商科大学教職課程教職指導・教職支援正課外教育講座として、以下のようなプログラムも用意した。

[プログラムの内容]

学習指導案作成の知識と研究／教職履修電子カルテの意義とその技法／群馬県の教員採用選考試験の特質と展望（教育委員会外部講師）／自己アピール文作成講座／教員採用試験志願書記入と提出物の注意講座／教員に復帰したい人への教育支援講座

[開催日時等] 2024年度は、水曜日・4限開催（不定期） [講師] 教職科目担当教員

○教育実習（事前・事後指導）・介護等体験指導

・「教育実習（事前指導）」には、講師として附属高校の教員等を招聘し講義や実習を行った。

・「介護等体験指導（事前指導）」には、講師として社会福祉協議会、群馬県教育委員会より特別支援教員（指導主事）を招聘し、講義や実習を行った。

○多様な学習機会の提供

・「教育実習報告会」、「介護等体験報告会」、「教職課程新入生歓迎会」、「高崎商科大学教師教育研究会」等の企画・運営を学生が主体となりそれぞれ実施している。

・2024年度は、上記の機会に加え、下記のテーマを設定し「ALやICTの活用等の新たな手法の導入状況」に関する対応について学習機会の提供を行った。その結果、在学生だけでなく、保護者や卒業生が参加し意見交換を行った。

2024年10月26（土）-27日（日）（彩霞祭期間）於：223教室

「生成AI ChatGptと未来の『学び』を考える」（講師：菅原）を開催。

○現職教員の研究会及び交流会

・卒業生の現職教員による授業公開や研究会や講演会などの機会を提供している。

例えば、「本学卒業の現職教員との学習会の実施」と位置づけ、2024年度は「高崎商科大

学教職課程教師教育研究会 現職教員との情報交流会」を 2024 年 12 月 23～28 日及び 2025 年 1 月 4 日に開催した。第 3 学年は全員が参加して模擬授業を行った。教職課程専任教員 3 名の他、7 名の教職員が参加。本学卒業の現職教員としては、長野県 1 名、群馬県 9 名、埼玉県 1 名、新潟県 1 名の都合 12 名が参加。その他にも、第 2、第 4 学年の参加もあった。

○卒業後の教職志望者への支援

・教員への就職情報や教員採用選考試験情報の提供と同時に、教員採用選考試験講座への参加を許している。

○現職教員への支援

・常に各種相談に応じる体制を整えている。

○教職課程担当教員の研鑽

・「教職課程に関する FD・SD」の開催や教職課程担当教員相互の授業見学を通して意見交換を行い、研鑽をしている。

・年 2 回実施される FD 推進委員会主催「授業開放」において、全学的な視点から見直しを行っている。

FD 推進委員会主催「前期授業開放」期間 6 月 28 日（金）～7 月 11 日（木）

「後期授業開放」期間 12 月 4 日（水）～12 月 17 日（火）

「教職科目担当教員（専任）」の覚書として以下の点を情報共有した。

1. 「教職科目担当教員（専任）」は、教職課程の質保証のためのガイドライン検討会議「教職課程の自己点検・評価及び全学的に教職課程を実施する組織に関するガイドライン（令和 3 年 5 月 7 日）」に則り遂行する。
2. 「教職科目担当教員（専任）」は、2 科目以上のうち必ず 1 科目は、「教職科目担当教員（専任）」の授業を参観する。
3. 授業の振り返りの観点については、上記ガイドラインなかでも「授業科目レベル」の項目を中心に実施する。その主な観点は、次の 2 点である。

①個々の授業科目の到達目標の設定状況（法令、教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画、学習指導要領及び教職課程コアカリキュラムへの対応が図られているか 等）

②アクティブ・ラーニングや ICT の活用など新たな手法の導入状況（授業科目の到達目標に応じ、少人数のアクティブ・ラーニングや ICT を活用した新たな手法を導入し、「考える」「話す」「行動する」などの多様な学びをもたらす工夫が行われているか等）

※FD 推進委員会より「授業アンケート」「授業開放に係る『参観報告』」等にもとづき、「教職科目担当教員（専任）」間でふりかえりを実施した（前期：2024 年 9 月 18 日 後期：2025 年 2 月 25 日）。